

平成23年度第3回函館市戸井地域審議会議事録（要点）

1 日 時 平成24年3月28日（水） 午後2時00分～午後3時22分

2 場 所 函館市戸井支所 第3会議室

3 出席者

尾関 忠義 委員	宇美 兼松 委員	小山内由子 委員
大和 孝幸 委員	丸山 英樹 委員	尾本 美恵 委員
館山 澄子 委員	室谷 久恵 委員	森 祐 委員
越田 司洋 委員	山路 榮 委員	吉田 徹朗 委員
杉野 陽一 委員		

事務局

戸井支所長	齋藤 章生
戸井支所地域振興課長	林 秋男
戸井支所地域振興課主査	西澤 嘉晃
戸井支所地域振興課主任主事	砂子 歩美
戸井支所市民福祉課長	佐藤 雅巳
戸井支所産業建設課長	山下 勝
戸井教育事務所長	木村 周治
企画部計画推進室長	小野 浩
企画部計画推進室地域振興課主査	杉村はるみ
福祉部参事3級	成澤 俊也
福祉部介護高齢福祉課主査	桐澤 睦巳
教育委員会学校教育部参事3級	三尾 慎吾

4 その他 傍聴者：（1人） 報道機関：なし

5 議 事

事務局（林課長） 皆さん、本日は大変忙しいところご出席をいただきましてありがとうございます。ございます。

定刻になりましたので、ただ今から平成23年度第3回函館市戸井地域審議会を開催いたします。

本日の会議につきましては、地域審議会の設置に関する規程によりまして、公開としてございます。なお、傍聴人数につきましては、20名としておりますのでこの点もご了承をお願いいたします。なお、傍聴人の方におかれましては、遵守事項に従いまして静粛に傍聴を下さいますよう協力方よろしくをお願いいたします。

それでは、会議開催にあたり尾関会長からご挨拶を申し上げます。

尾関会長 《挨拶要旨》

皆さん、こんにちは。

平成23年度第3回、今年度最後の函館市戸井地域審議会でございます。時節がら皆さんにおかれましては、年度末何かとお忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。ございます。

本日の議題につきましては、お配りしてある書類でご覧のとおり、24年度の事業計画および地域振興全般に関する意見交換では、交通機関乗車料金助成制度などの見直しと小・中学校の配置計画についての説明がございますので、皆様の活発なご意見をいただきたいと考えております。

本日は、本庁企画部から小野計画推進室長や担当職員のほか、福祉部から成澤参事、そして市教委からは、三尾参事の出席をいただいております。

また、当支所の担当課長の出席もいただいておりますので、アドバイスをいただくこともあろうかと思っておりますので、どうかよろしくをお願いいたします。

なお、企画部、福祉部の職員の皆さんは、この後、恵山の審議会に出席する予定でございますので、一部議題の順番を早めることになりましたので、訂正をよろしくお願ひしたいと思います。意見交換終了後に途中退席することになりますので、どうかよろしくお願ひします。

以上、簡単ではありますが、開会にあたってのご挨拶といたします。どうかよろしくお願ひいたします。

事務局（林課長） 続きまして、齋藤支所長からご挨拶を申し上げます。

齋藤支所長 《挨拶要旨》

皆さん、どうもこんにちは。今日のご苦勞様です。

平成23年度第3回戸井地域審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、年度末を控え何かとお忙しい中、また本日足下の悪い中、ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。ございました。

また、日頃から市政運営各般にわたり、ご理解とご協力を賜っておりますことに対しても心から厚くお礼を申し上げます。

今年の冬は、昨年12月から近年にない低温の日が続き、特に2月は積雪日数も多く、市道の除雪につきましても、これまでにない除雪回数となり、予算も何とかやり繰りして対応したところではありますが、至らないところもあったかと思ひます。皆様方には、ご協力

をいただきまして、改めてこの場をおかりしまして感謝を申し上げます。

さて、平成24年第1回市議会定例会が28日間の審議を経て、この22日に閉会したところでございますが、議会では、平成24年度の予算を含む議案78件が議決されたところでございます。

平成24年度一般会計予算の概要につきましては、すでに新聞報道等で皆さんはご承知のこととは思いますが、現下の厳しい財政状況が反映される形となり、総額では、昨年4月の市長選挙後に編成した23年度6月の補正予算後に比べまして5.6%減と、金額にいたしますと、1,255億円となっておりますが、昭和48年度以降で最も大きい減少率となったところでございます。

本日の地域審議会では、平成24年度予算の中で、戸井地域に係る事業計画などについてご説明を申し上げるほか、新たに始まる交通機関乗車料金助成制度や市立小・中学校の再編計画などにつきまして、それぞれ担当部局の方も今日、来ておりますので、説明申し上げる予定としております。皆様には、忌憚のないご意見やご提言をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

今日はどうぞよろしく願いいたします。

事務局（林課長） ここで本日の出席委員の報告を行います。

所用によりまして、松田委員それと佐藤委員が欠席されておりますので、出席委員数は13名でございます。

会議の進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の定めにより会長が議長を務めることになってございますので、以後、尾関会長を議長として進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

尾関会長 それでは、地域審議会の設置に関する規程、第8条第3項の過半数以上の出席要件を満たしておりますので、直ちに会議を始めます。

お手元の会議次第に沿って進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

尾関会長 まず初めに議題の1番目、前回の意見等の集約結果と取組状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局（西澤主査） [資料により説明する]

尾関会長 説明が終わりました。ご意見があればお受けしたいと思います。

（「ありません」の声あり）

尾関会長 よろしゅうございますか。

（「はい」の声あり）

尾関会長 ないようですので次に移ります。

尾関会長 先ほど説明しました、交通機関乗車料金助成制度の見直し概要について、先に2番目の議題としまして行いますので、福祉部から説明をお願いいたします。

成澤参事（福祉部） [資料により説明する]

尾関会長 説明が終わりました。色々と制約があるようではございますが、この件について質問を求めたいと思います。いかがでございますか。

杉野委員 障害者の件なんですけど、現行の制度であれば1級から4級までありますね。

新制度ではそれが撤廃されるんですか。

成澤参事（福祉部） 説明不足で申し訳ありません。対象となる障害の程度はですね、同じく1級から4級までです。

山路委員 高齢者の方の関係なんだけれども、ここの福祉課では26日から各町会回って申請受け付けていますよね。それでまだ2日より経ってないんだけど、特に支所から遠いところね、小安、釜谷、汐首が終わったと思うんですけども、申請の対象者でどの位の割合で申請あったかちょっとまとまってたら教えていただきたいなと。

佐藤課長 ただ今ご質問あった件につきまして、昨日、失礼しました。26日、27日ということで、本日も行っておりますけれども、26日初日につきましては、戸井地区全体で115名の方から申請を受け付けました。昨日27日につきましては、74名の方から申請を受けております。26日につきましては、小安地区、汐首地区でございます。27日につきましては、釜谷地区、瀬田来地区という状況になってます。以上でございます。

山路委員 それで該当者がね、割合からいけばどの位の割合。

佐藤課長 地区の70歳以上の高齢者の状況については、資料いただきましたけれども人数のチェックはしておりません。大変申し訳ないです。ただ70歳以上の24年度以内に70歳になる対象者を含めると戸井地区では、全体948名となっております。地区ごとの対象者、人数につきましては、後ほど整理させていただきたいと思っております。

山路委員 制度なってからね、函バスがとにかく積極的にPRやってんですよね。それで各町会長さんとこ回って、町会ごとに函バスがきて説明するから集めてほしいというような要望して回ってたと、そういうこと分かってんですけども。その他にですね、函バスは色々とにかくバスは事業者だからね、そのいわゆる乗車率上げたいんだろうと思うんで、各老人クラブも回って、とにかく申請を多くまとめてほしいというようなことでとにかく積極的なんです。それで実際高齢者だから、これ代人でもいいってことになってる訳だけれども、代人だつてだれか家族のいるところであればあれだろうけども、小安の場合もそういうこと心配して。もしもですね、いわゆる申請率が悪ければってなんですけども、低いようであればですね、何らか方策を取らなきゃならないんでないか、まあ、あと支所に全部来いって言ったって、支所にいちいちね、申請にっとなればこれもまた大変なことだから、全部まとまってないからあれですけど、もしまとまってですね、全部一応一回りしてみて、いわゆる申請率が低い、全然利用しないって人も中にはいる訳ですから、70歳以上になったってね、全然使わないって人もいる、自分の車で走ってる人もまだ70歳代であればね、数も結構いるんだろうから。でも、もしも来れなくて、その申請がほしいんだけども手続きしないっていうものもあった場合にですね、この後、とにかく支所だけであれば中々、今度、その分については、町会なり何なりまあ何らかのカバーする方法でも考えなければ申請率が上がらないだろうと、申請率上がらなくてもさっき言ったように使わない人はいないだろうけども、使いたいけれども中々来れない人、これに対してはですね何かその全部一旦終わってから状況見ながらですね、方策考えてほしいなというふうにですね、例えば函バスはね、僕達のところへ来て、もし、いわゆる申請の時にまとまらない場合で、いわゆる申請したいって人があれば、老人クラブの会長の所へ、僕の所へも申請用紙いっぱい置いていって何とかまとめて、何人かでもまとまれば家の方に来て代行してやるからといったようなことも話ししてるんですね、だからそういうことについて

ですね、ある期間経ったらですね、支所と我々とか協議してですね、いわゆる申請したい人はできるだけカバーできるようなことを考えてほしいなど、要望です。

佐藤課長 ただ今、ご意見ありました件につきましては、担当課と市の方との協議をしまして対応を検討してまいりたいと考えております。

山路委員 よろしくをお願いします。

尾関会長 他にございますか。

(「ありません」の声あり)

尾関会長 なければ次の議題へ移りますが、冒頭に申しあげたとおり、企画部および福祉部の職員が退席いたします。

尾関会長 では引き続き議題の3番目、平成24年度事業予算について、これは(1)から(3)まで、支所、合併建設事業それから国・北海道の実施予定事業について、一緒に説明をお願いいたします。

事務局(林課長) [資料により説明する]

尾関会長 説明が終わりました。2番、3番、4番の議題につき質問のある方、挙手をお願いいたします。

尾関会長 ございませんか。

(「なし」の声あり)

尾関会長 ないようでございますので、次に移りたいと思います。

尾関会長 平成24年度地域審議会開催スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局(西澤主査) [資料により説明する]

尾関会長 説明が終わりました。この件について質疑を受けたいと思います。

尾関会長 なおですね、7月、10月、12月、3月といふうに月は予定として決まっていますが、日時については議会の開催日程で変わってくると思いますので、日時の予定については、会長、副会長にお任せ願いたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

尾関会長 では、次に移りたいと思います。

尾関会長 地域振興全般に関する意見交換です。

杉野委員 実はですね、道路の件なんですけども雪が解けますとですね、あちこちかなり舗装が壊れて穴が開いてきてるんですね。これやっぱり交通事故の件もあるもんで、なるべく早く補修していただきたいと、願います次第です。

尾関会長 やっぱり私も杉野委員おっしゃるように路面が出てきたら、あちこち穴だらけになってきて、その継ぎはぎがいよいよ始まったようでございます。そのことについて、はい、お願いします。

山下課長 毎年のごとでありますけども、雪解けと同時に、来週からは新年度にもなる訳ですけども道路状況、かなり例年よりも痛んでるということは私どもも実感しております

ので早急に対応したいと、いうふうに考えております。

尾関会長 去年の時でしたよね、森委員が小安から釜谷、本来左側通行なんだけども右側走らなければならないくらいの道路になっているというようなことで、去年の暮れに市長に地域審議会としてお願いした時に、付帯意見としてこういう状態であるからということをお願いはしてあるんですけども、具体的にでこぼこを直すところまではまだきてないようでございます。またその辺については、そういう機会があると思いますので、その折りにお願いしたいと思います。

杉野委員 実はですね、すみません、個人的なことですけども家の前の道路がすごく軟弱なもんでかなり陥没してるところがあるんですよ。小型の場合はまだいいんですけど大型が走ると家が地震には丈夫なんですけど、そのバウンドに弱いんですね、家。その大型車が走るとガタガタっていうんですよ。地震は何も揺れないんですかど。そういう状態でちょっと困っておりますんで、なるべく早くやってもらいたい。

尾関会長 よければ、小・中学校の再編計画の方に移りたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

尾関会長 では、三尾参事お願いします。

三尾参事 [資料により説明する]

尾関会長 説明が終わりました。旧戸井町時代にも小中学校の統合という問題がありましたけれども、廃案になってしまいました。先日この話がありました時にあれっと思ったんですよ。三尾さんにちょっと質問したいんですけども、小学校と中学校それぞれでなければだめなんですな。地域へ、例えば、要するに学校の校数が減ればいいんでしょ、極端な話。

三尾参事 校数が減ればいいってことではなくて、そういうことで教育環境が向上するのであればそういうことでということで基本的には考えておりますけれども。

尾関会長 私も商売やってる訳ではないですけども、極端に言うと2つを1つにすると確かに経費も違ってくるんだろうなあとと思って、教育の専門家がるる考えることですから色々な問題があるから再編ということになったんだろうと。

皆さんにちょっと私の意見としてお聞きしたいんですけど、それなら西小と潮光中を一緒にしたら、日新中と日新小を一緒にしたら、いわゆる小中学校時代、山路さん体験ありますか。

山路委員 ない。

尾関会長 小中学校併立された時代に私は確か。杉野さんもありましたか。

杉野委員 はい、ありました。

尾関会長 小中学校。そうすると西地区では学校1つになり、こっちも学校1つになる。とりあえず学校2つ減るな、そういう案もあるよ。もし保護者の方にどうでしょうかって言ったらこれ皆さん賛成してくれるんじゃないかなと、随分安易な話なんですけども一瞬そう思ったんです。で皆さんに今、担当から説明しましたけれども、どうでございますか。

説明を聞いた話としてご質問があれば受けたいと思います。

森委員 1点お尋ねしておきたいと思います。平成の10何年から検討してきて、この原案

が本計画になっちまったということなんで、今さら申しあげてもどうしようもないんだろうけども、審議する過程の中で中高の一環教育というものを考えた経緯があるのかどうか、その辺。

三尾参事 中高の一環ということの話がありました。今どちらかというとな主流としては、小中という流れもございます。そこら辺、今、会長さんの方からもお話しありました小中併置校といいますか一環といいますか、そういうことも含めて今、表だった市民の方からのご要望というのはないですけども、教育委員会の中で様々な形で色んな教育を研究する中でそういうことは勿論視野には入れておりますけども、ただ具体的に検討したことは今までにないです。

森委員 恐らくないんだろうなと思って、当然義務教育と高等教育と違いがあるんで、その辺では中々一緒に各自治体の教育委員会の中では難しい問題だろうと、だから私立であれば、その辺はすぐ検討に入って生徒を確保しようちゅ動きは見える、わかるんだけども、そういう点でたまたま当地域、今、戸井高校が廃校の方向に最終的には進むだろうという判断をしてる訳だけども、そうした中でやはりその平成29年になると実数、中学校でいけば1学級6人ですか、わずか6人で1クラスを持つ学校なんて今の時代にはちょっと考えられない数字になっちまう、そのくらい子どもがいないちゅ時代が目の前に来てしまっている訳だから、そうした中で戸井高どうのこうの言ったってどうしようもない話だから、そうした場合にやっぱりこの地域性を持っていただくためには中高の一環ちゅものをね、たまたま現在は道立高校だからその辺で市が戸井高と例えば中学校が一環の教育を1つの校舎で6年間学ばせるんだという方向にはならないにしても、将来的にそういう生徒数が減っていくということ、やはり目の前にしてる中でその辺にもうちょっと地域の配慮をくみ取っていただいて審議していただければよかったのかなちゅ思いでおりますけれども、今完全に原案としてもう基本計画となってしまうものを今さら変えることはできないので。実施にあたってはそれぞれ相当苦労されるんだろうと、特に戸井の場合は、一旦統廃合をしてる経験からしてもね、それでも1回目の統廃合は意外と問題なくスムーズにいったんだけども、2回目の再編をしようといった時にはやっぱり相当反発があったちゅことで最終的に元へ戻ったと、いうことで今の体制になってる訳だから。そういう点では例え生徒数が少なくても親の気持ちとしてやっぱりその学校へという思いが強いんだろうと思うんだけどもね、本来なら自分としては子どもの教育のためにはならないんだ、もっと大勢の人数で切磋琢磨させてそして競争仕合うことによって教育力が上がるんだろうなと思ってるんだけども。その辺の親に対するこれからの子どもが少なくなって、いざ地元のこの学校が統廃合の問題を抱える時に親にどれだけ説得できる体制ができるのかということでは本当骨折っていただかにゃならないと、いうふうにお願いをしておきたいと思ってます。

尾関会長 いかがですか、皆さん。非常に難しい問題でございます。若いお母さん方がもう一人か二人子どもを作ってくれるとある程度解消されるかも知れませんが。

杉野委員 はい、例えばさ、西の方の汐首からこっちね、潮光中学校と西小学校と小中学校一緒についていう考えは会長言ったようにできないものなんでしょうかね。

尾関会長 いや、先ほど説明の中では、そういう話もあったって言ってます。

三尾参事 決してそれも不可能な話しではないと思います。ただ先ほど説明しましたけれ

ども、学校の規模、教員の配置数というのは小学校、中学校のそれぞれの学級数で先生の数が決まってきます。そういう意味では今、潮光と戸井西、日新小中それぞれ一緒にしてもそういう意味ではまったく変化がないということ、むしろ一緒になることで教頭先生が一人いなくなるとかっていうような形になってしまう。例えばこれも後何年か持つかって問題はありますが、戸井西と日新小学校一緒にしますと100人超える数になります。

同じ6学級でも100人を超えると超えないとで先生の数が一人違ってきます。100人以下ですと6学級の学級の先生の数しか来ないんですけど、100人超えると一人余分だといえますか、定数上は一人出てきますのでその先生、例えば色んな指導の形態、学校の中でより有効に使っていただければ、そういうようなこともあります。中学校の場合は、それ一緒にしてもこれだけ生徒少ないと先生の数増えるという訳になりませんが、そういうこともあります。施設の面でいけば確かに小中学校1つになることで今後の維持費とかという部分ではそういう部分あるかも知れませんが、ちょっとそこは、色んな課題もあります。1つの案としては考えられるとは思いますが。今、私ぱつと聞いた中ではそんなふうにとちょっと考えたところです。以上であります。

尾関会長 他にどなたかお聞きになりたい方、ございませんか。

館山委員 小安の方の父兄の話を聞きますと、たまあにね、石崎行った方が近いんでないとか、それは前からそういう話しはありましたけどね。だから日新に行くよりも石崎の方が近いんでないだろうかという、小安だとか、確かに近いですね。そういう話しありますよね、子どもたちがどう思うかわかりませんが、ただ幼稚園が一緒ですからね。

小学校が1つになっても確かに幼稚園はそのまま小学校になるっていうそういうようなことでないだろうかと思うんですけどね。ただそういう話しがありますから。

尾関会長 実はね今、話を聞いたら思うことがあるんですけど、切磋琢磨っていう、森委員おっしゃいました。言葉を換えると競争社会、今の世界の情勢を見ると競争社会がこんなふうになっているんでないかという、基本的に私ら素人じゃその辺がよく理解できないんですけど、森委員さんおっしゃいましたけれども小中学校一緒に教育するのも1つの方法だっていう、切磋琢磨して学力を向上するのも1つの方法だと、それなりに色々と効果はあるんですけど、メリットがある反面デメリットも当然ある訳ですから。じゃあこう行こうかっていう結論を出すっていうのは中々大変でないかと思います。

尾関会長 越田さん、学生を持つてる父兄としてどうですか。

越田委員 これから子どもさんが減るのは目に見えることなんで、地域性もあり大変難しい問題だとは思いますが。

尾関会長 1回目の統合と2回目の市町村合併の時は、一番問題になったのは地域性のことなんです。お母さん方はあまりこだわらなかったように記憶しています。お父さん方が意外とね、こだわったようです。これは記憶があるんですね。

尾関会長 まあ、原案としてこういうふうに示された訳ですから、第7ブロックとしてはそのような話しになると思いますけれども。

杉野委員 今の統合の問題が出てきてあるんですけど、廃校になった学校をどうするかということ一切ないんですよ。それをどう考えているか、ちょっと教えて下さい。

三尾参事 統廃合となりまして廃校となる学校、勿論そういったことが出てくるかと思えます。それにつきましては、建物の状況も含めて使える建物なのかどうなのかも含めてそ

の後の使用方法については教育委員会は勿論ですし、市全体として、地域の方も含めてご意見をお聞きしながら決めていくっていう形になろうかと思います。以上であります。

杉野委員 実はですね、戸井町で何年か前に合併したんですけども2校が廃校になってんですよね。その学校を未だ何も手付けないと、かなり傷んでると、そういうこと考えると早く対策をしてもらいたい、そう思います。意見です。

尾関会長 なかなか、壊した方がいいんじゃないかというような話しにはどうもなりそうもありません。

杉野委員 いや、危険になってくる可能性があるから。

尾関会長 暫くこの性格は、これからの会議の中でそれぞれ毎度出てくる問題ではないかと思ってます。

杉野委員 いや、避難場所になるような建物であればさ、置いてもらいたいんだけど、それが可能でないとだんだん危険な廃校になって来ると。考えると何とかね、危なくならないような時期に何とかしてもらいたい。

事務局（林課長） 今、杉野委員おっしゃっているのは、合併前の統合で空いている汐首小学校と鎌歌小学校のことだと思います。実はこれは教育委員会の方の所管でなくて支所の所管になっております。そういうことで杉野委員おっしゃった懸念というのは、支所も持っております、実は毎年解体費として予算要求はしております。ただ、ご存知のようにこういう厳しい財政状況でなかなかすぐ壊すというふうな、何千万もかかる仕事になりますので、また、支所としてもそういうアピールはしているということ、まずご理解いただきたいと思えます。日常の強風ですとか、それにつきましては、随時支所の担当の方で見回りと言うんですか、それは行っておりますけれども基本的には、函館市としては解体があった場合には、壊して売るということもあるんですけども、なかなかこういう時代ですので廃校跡というんですか、無いのが現実でございまして、何年か前には一時、汐首小学校の跡地をほしいという話がありましたけども、それも実は無くなりまして、現状といたしましては、鎌歌も一部まだ補助金の返済時期も一部残っているか所がございまして、そういうことからして、鎌歌については備品庫として使っています。ですから支所の備品を今鎌歌小学校に入れていて、いうことでございます。

汐首小学校につきましては、実は地元の町会から一部貸していただけないかということで、教室の一部をお祭りの道具ですとか、そういう物を入れて利用させているというのが現状です。ただおっしゃるとおり、総体的には老朽化が進んでいますので、例えば民家の方に迷惑をかけない内にできれば撤去したいと考えておりますので、随時予算要求はしてまいりたいと、このように思っております。ご理解よろしくお願ひします。

尾関会長 学校の件については、皆さんよろしゅうございますか。

（「はい」という声あり）

尾関会長 ただ、これからも実施される計画でございまして、随時提案がございましたらこれから行われる審議会で発表をお願いしたいと思います。

尾関会長 それでは、その他の方に入りたいと思います。

事務局（林課長） はい。それでは2点ほど事務局の方からご案内します。

まず、委員さんの手元の方に函館市の台所事情を資料としてお配りしております。また、

前回の地域審議会の会議録を配付してございますので、後ほどご覧いただきたいと思ひます。

それからもう1点でございますが、市政はこだてのページ数の見直しについてでございます。市政はこだてのページ数の見直しにつきましては、既に3月の市政はこだての支所のページの中でお知らせをしておりますが、再度確認のために報告をさせていただきますと思ひます。市政はこだてにつきましては、5月号からですね、全体ページ数の見直しが行われることに伴ひまして、支所のページも現行の4ページ、各支所1ページずつになつてございますが、5月号からは2ページが削減されまして2ページの中で集約されて載るといふこととなりますので、この点この場をお借りしましてお願い、またご理解をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。以上です。

尾関会長 事務局の報告が終わりました。もしなければ、今日の会議をこれで終わりたいと思ひますが。

吉田委員 ちょっとお尋ね。除雪費に関してですけども、今年みたいな大雪はそんなになつて思ふんですけど、除雪した後に漁港に入れなくて2回も沖に行くのを休んだ経過がございます。何か話し聞いたら漁港は公共でないから掻けないとか、戸井のまちはね、漁業で飯食つてるまちなもんだから。丁度私たち2回休んだのは、浜コンブ上げる時期でした。そういうところで漁業者から大変苦情が来て大変困つた経緯あつて、業者に2回ほど掻いてもらつております。その辺は、やっぱり市の道路でなくても漁業のまちであるんだから掻いてもらいたいと思ひますので、その辺は市の方でも審議しながら今後その辺はやつてもらいたいと思ひますので、その辺はよろしくお願ひします。

吉田委員 入れないのさ全然、車が。雪の少ない時は自分らで掻いて入つていったんだけど、今年みたいな雪の多い時は、全然、自分らで掻くような感じでないのさ全然。だからこれからは雪がなくなるんだから来年の12月までにもやらないとか、やるとかそういう結論を出してもらいたいと思ふ、浜へ帰つて何もしゃべつて来ねのがつてことになれば困るから。課長その辺よろしくお願ひしますよ。

山下課長 市道の除雪については、戸井町時代から町道ということで町内の業者にですね、路線を指示しまして、それぞれ分担して除雪してもらつてる訳ですけども、それで私もこの職に就いてからですね、本当に漁港に除雪車が必要だという経験なかつたもんですから指示しているとおり市道だけの除雪、委託契約を結んでおりますけども、そういう形で漁港は漁協が管理しているところであるということから、そういう判断をしました。

来年以降したらどうするのか、それは予算等漁協とも相談しながらですね、結論を出していきたいと、いふふうに思つてますのでよろしくお願ひします。

尾関会長 ということだそうでございます。

吉田委員 わかりました。お願ひします。

森委員 要するに市道の除雪は行政がやるんで、漁港は漁港用地だから本来国が管理するもので、たまたま組合がその分を管理委託されているんで、本来組合がやんねきゃねんだけども。市道を除雪してる中で脇、山になつて来る訳でしょ。その山を少なくとも取り付け道路があるんだという部分、皆解つてる訳だよ、そこ、ちょべつと、こうやつてくれるだけでいいのさ。何も下までやれつて言つてねんだ。道路全部やれつて、言つてねんだ。少し盛りになつた部分を取つてもらえれば、後はみんなで車で多少無理してでも入つ

て行けば踏み潰せるのさ。

吉田委員 今年はどうして車入っていく時、ね、課長も覚えて分かってると思うから。

森委員 その点では、国道に面した汐首だとか東はいいのさ、問題ねえのさ。国道に面してるから国道だから取り付け道路の入口はちゃんとやるっしょ。歩道と同じように。でも釜谷と小安の場合は、市道に面した漁港だからどうしても市道だけ掻いて行って漁港へおりるところ山になってしまう。でも本所の場合は、たまたまりフト何台かあるから職員が早く来てその辺をやってくれるんだけど、まあ小安さんにはリフト置いてないもんだからね、そういう点ではなかなかやれない、だからどうしても組合が自らやんなきゃなんねってことになる。少なくとも、その入口だけでもちょっと山になったのを寄せてくれってことさ。

尾関会長 どうか一つ、私からもよろしくお願いいたします。

吉田委員 今年また、丁度、コンブやってた時期だったところなもので。

尾関会長 もし無ければこれで終わりたいと思いますが、よろしゅうございますか。

（「異議なし」の声あり）

尾関会長 皆さんから頂いたご意見等につきましては、取りまとめの上、後日改めてまた報告したいと思えます。

次回の開催は、7月を予定しておりますが、日程や議案内容につきましては、正副会長にご一任願いたいと思えますが、よろしゅうございますか。

（「異議なし」との声あり）

尾関会長 ありがとうございます。それではこれを持ちまして、閉会といたします。ありがとうございました。